

みずほCustomer Desk Report 2017/02/27 号(As of 2017/02/24)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.88 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.69	1.0585	119.25	1.0064	1.2555	0.7713
SYD-NY High	112.96	1.0618	119.50	1.0081	1.2570	0.7720
SYD-NY Low	111.93	1.0557	118.25	1.0025	1.2448	0.7664
NY 5:00 PM	111.96	1.0565	118.45	1.0080	1.2469	0.7669
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.135/10.585		△25RR	0.173	Yen Call Over	
NY DOW	20,821.76	11.44	債券市場	日本2年債	-0.2550	0.2bp
NASDAQ	5,845.31	9.80		日本10年債	0.0680	▲1.6bp
S&P	2,367.34	3.53		米国2年債	1.1428	▲4.0bp
日経平均	19,283.54	▲87.92		米国5年債	1.8044	▲5.4bp
TOPIX	1,550.14	▲6.11		米国10年債	2.3117	▲6.0bp
シカゴ日経先物	19,170	▲125.00		独10年債	0.1860	▲4.7bp
ロンドンFT	7,243.70	▲27.67		英10年債	1.0780	▲7.6bp
DAX	11,804.03	▲143.80		豪10年債	2.7300	▲5.5bp
ハンセン指数	23,965.70	▲149.16		為替市況	USD/CNH	6.8545 0.0051
上海総合	3,253.43	2.06		ドルインデックス	101.09	0.04
USDJPY 3M Vol	11.45	▲0.31%	商品市況	CRB指数	190.931	▲0.70
USDJPY 6M Vol	10.95	▲0.25%		NY金	1,258.30	6.90
EURJPY 3M Vol	14.31	▲0.30%		WTI	53.99	▲0.46
EURJPY 6M Vol	12.95	▲0.15%		Dubai Spot	54.34	0.02

東京	東京時間のドル円は112.69レベルでオープン。日経平均株価が前営業日比100円超安で寄り付いたものの直ぐに上昇に転じプラス圏まで浮上したことに加えて、仲値にかけては実需勢のドル買い期待もあり一時112.96まで上昇。しかし、前日海外時間のミューチン財務長官の「税制改革について8月の議会休会までの法案通過を目指す」との発言等が意識される中では113.00を上抜けることはできず、112.71まで下落。その後は特段新規材料のない中、方向感に乏しい推移となり112.80レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は軟調推移、112.80レベルでオープン。28日(火)のトランプ米大統領による議会演説において、財政政策や税制改革に対して踏み込んだ発言は見られないだろうとの市場の思惑等を背景に米金利や欧州株が下落。この流れを受けドルは全般的に売られ対円では約2週感ぶりの安値112.18まで下落。112.26レベルで海外へ渡った。ポンドドルは動意薄。1.2562レベルでオープン。英国銀行協会(BBA)による国内銀行の1月の住宅ローン承認件数は過去1年で最多の4万4567件(予想4万2600)と発表されるも市場への影響は限定的。1.25台半ばでのレンジ推移となり1.2550レベルにてニューヨークへ渡った。(ロンドン・フリ 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	アジア、欧州共に株安が進行する中、リスク回避の円買いが強まり海外時間に前日安値112.55を割り込み112.18まで下落したドル円は、112.26レベルでNYオープン。序盤に112.48まで上昇したが、米株が寄り付き後に海外株の流れを引継ぎ下げ幅を拡大したこと、再びリスク回避の円買いが進行。注目イベントであったCPACの会合に参加したトランプ米大統領からは、相変わらず財政出動や税制改革に関する具体的な発言がみられず、失望感から一段と下落。リスク回避ムードの中、月末特有の70-も相俟って米長期金利が年初来低水準まで下落する動きとなるドル円は112円を割り込み、2/9以来の安値水準である111.93まで下落。しかし、引けにかけて米株が切り返すとドル円も下げ渋り111.96レベルでクローズした。1-ドルは1.0609レベルでオープン、リスク回避ムードの高まりを受けた1-円円の軟調推移に連れて安値1.0557まで下落。その後も戻りは鈍く1.0565レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:西谷・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time	豪	ロウRBA総裁議会証言	結果	予想
2月24日	07:30	豪	ロウRBA総裁議会証言	-	-
2月25日	00:00	米	ミシガン大学消費者信頼感指数・確報値	2月	96.3 96.0
	00:00	米	新築住宅販売件数	1月	555K 571K

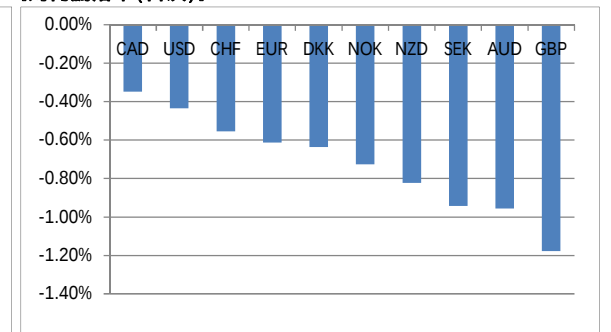
【本日の予定】

Date	Time	欧	消費者信頼感・確報値	予想	前回
2月27日	19:00	欧	消費者信頼感・確報値	2月	-6.2 -6.2
	22:30	米	耐久財受注/除く輸送用機器(前月比)・速報値	1月	1.7%/0.5% -0.5%/0.5%
2月28日	00:00	米	中古住宅販売契約	1月	1.0% 1.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	111.70 - 112.70	1.0500-1.0600	118.00-119.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日の海外市場でのドル円相場は下落する展開となった。北米時間に発表された米1月新築住宅販売・2月ミシガン大学消費者信頼感指数(確報値)はほぼ市場予想通りの結果にマーケットの反応は限定的。かかる中、米金利の低下を背景にドル円相場は徐々に水準を切り下げる展開となり、112円近辺まで下落。その後、トランプ米大統領会見前にやや買い戻しの動きが見られたものの、会見では具体的な経済政策に関する言及は特段見られず、また一部メディアの取材を認めないといった措置と実施するなど、依然としてメディアとの対立が見られたことでドル円は再び下落基調に戻り、一時安値となる111.93まで下落した。本日のドル円は上値の重い展開が継続すると予想する。明日のトランプ大統領の両院合同議会演説を控えて大きな値幅を伴った値動きは想定にくいものの、リスクオフムードから米金利は低下傾向にあり、ドル円相場の上値を抑えるものと思われる。本日は米1月耐久財受注の発表が予定されているが、マーケットの関心がトランプ氏の政策に集まっている中、影響は限定的となる可能性が高い。